



全職場総対話行動スタート!

「UNION FUTURE ⇒2027」に基づく運動を
組合員の参画と発意により前進させていこう

JR東海ユニオン発足以来の最重点取り組みである「全職場総対話行動」、2026年秋の取り組みでは、10月5日（水）から12月11日（金）までの約2箇月半にわたり、各分会が主催していく。

そして本日、名古屋地本中央線支部中津川運輸区分会から「2026秋の全職場総対話行動」が本格的にスタートした。現時点、166分会が370回を超える総対話行動を設定しており、これら分会の取り組みについて、支部、地本・総支部、中央本部が一体となって実施していく。

「全職場総対話行動」は、組織強化および組織内コミュニケーションの充実を図る上で重要な役割がある。具体的には、直接顔を合わせて双方向の議論を重ねることで、これまでの取り組みや成果について深く理解するとともに、組合員からの意見・要望の“熱量”をその場で共有できることだ。こうした取り組みを積み重ねることで、様々な課題の把握と、解決に向けた方向性を議論することにもつながる。

不確実性がさらに高まる社会・時代にあるいま、労働組合の機能を最大限に発揮し、全員参画で「全職場総対話行動」を盛り上げていこう!



中津川運輸区分会 小幡分会長の挨拶から、2026年秋の全職場総対話行動がスタート!!